

トピック (目次)

◎これからも心地よく暮らせるまちであるために
若い世代の声から見てきたヒント…………… P1~2

◎ウィズじょうえつの活動紹介…………… P3
◎その「境界線」、大切にできていますか?…………… P4

これからも心地よく暮らせるまちであるために

若い世代の声から見てきたヒント

新潟県では、若者・女性の県外流出の背景にある意識や、地域への思いなどを把握するため、若年層を対象とした意識調査を行いました。

調査では、働き方や生活環境、人との関わりなど、さまざまな声が紹介されています。今回はその中から、地域での暮らしやすさや、日々声かけなどについて考えます。



※新潟県「新潟県出身若年層の意識に関する調査報告書」より作成
詳細をご覧になりたい方はこちら

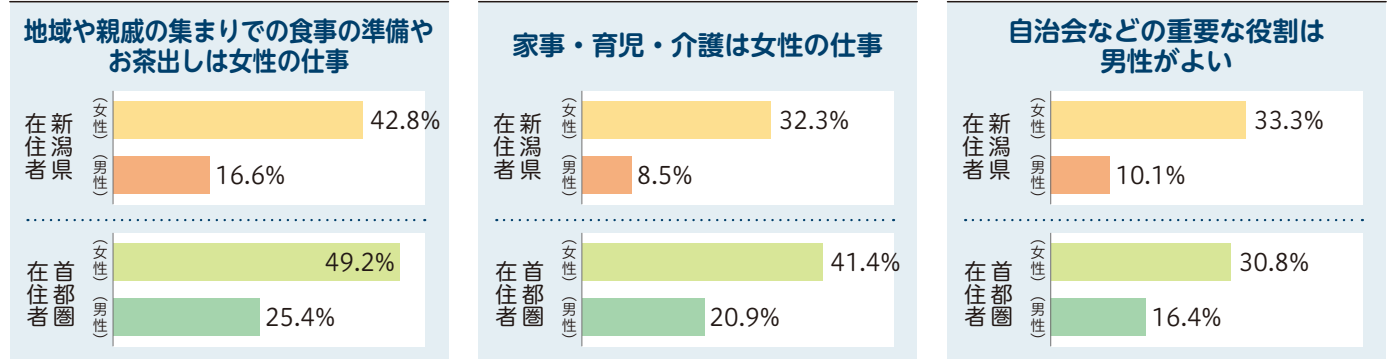
調査から見てきた若い世代の声

地域で感じたこと (生まれ育った地域であった固定的性別役割分担意識)

「生まれ育った地域であったこと (複数選択可)」の設問では、次のような傾向がみられました。

- ▶ 女性はすべての項目で、男性より高い割合になっています。
- ▶ 首都圏在住者は、多くの項目で県内在住者より高い割合になっています。

○県内在住者の男女差が大きい項目を掲載



※本調査では、「特に言われたことはない」と回答した人も3割以上いました。

調査結果からは、暮らしの中での経験が、若い世代の感じ方や地域への思いにつながっていることがうかがえます。家庭や地域での何気ない声かけや役割分担が、「こうあるべき」という期待として伝わることもあります。

『こうしなきゃ』という空気に、少し戸惑うこともあったな

『子育てや介護は女性』という意識が変わるといいな

多様な生き方を認め合える地域がいいな

昇進や働き方を、性別で決めつけない社会がいいな



こうした声の背景には、私たち自身も気づかない思い込みが関係しているのかもしれない。

次ページで考えてみましょう。➡

もしかして、思い込みかも？

～アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込みや偏見）～

私たちは経験や見聞きしてきたことなどから、無意識のうちに「きっとこうだ」と考えることがあります。こうした無意識の思い込みや偏見を「アンコンシャス・バイアス」といいます。

誰にでもあり得るものですが、気づかないまましていると自分や周りの人の可能性を狭めてしまったり、誰かを傷つけてしまうことがあります。まずは、気づくことが大切です。

身近な場面で、考えてみよう

「きっとこうだ」という思い込みが隠れているかも？

※男女共同参画局「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）―事例集―」を参考に作成しています。

① 家庭の場面（共働きなのに…）

やっぱり、家事・育児はお母さんの方が慣れていてしょう？



お互いを理解し、支え合おう！

家事・育児・介護など、お互いの状況や考え方を理解しながら、協力できるということです。

② 地域の場面（地域の集まりで…）

やっぱり、まとめ役は男性お茶と受付は女性がいいかな



みんなの力を生かそう！

役割は性別で決まるものではありません。一人ひとりの希望や得意なことを生かせるということです。

③ 進路の場面（こうしたいのに…）

女の子なら、もっと他に向いている仕事があるんじゃない？



本人の思いに耳を傾けよう！

進路や仕事について心配になることもあります。性別による思い込みにとらわれず、本人の興味や気持ちを大切にしたいですね。

あなたはどう思いますか？

身近な場面を思い浮かべながら、チェックしてみましょう。

- 家事や育児は女性が中心になった方がよいと思う
- 地域の取りまとめ役は男性の方が向いていると思う
- 親戚や地域の集まりの準備は女性の役割だと思う
- 男の子と女の子では向いている進路や仕事が違うと思う
- 男性は仕事をして家計を支えるべきだと思う

がついた数に正解・不正解はありません。

「なぜそう思ったのだろうか？」と考えることが大切です。

6月23日～29日は

『男女共同参画週間』です。

性別にかかわらず、一人ひとりが自分らしく活躍できる社会について考える週間です。



(男女共同参画局)

『アンコンシャス・バイアスを知ろう！パネル展』

無意識の思い込みや偏見に関する気づきや体験を集めたパネル展を市内各地で開催しています。パネルはホームページでも紹介しています。



ちょっと豆知識

8月8日は「アンコンシャスバイアスに気づこう！の日」

自分自身の思い込みを振り返り、多様な考え方や価値観について考えるきっかけとなるよう制定された記念日です。

「心地よく暮らせるまち」は、誰かがつくるものではなく、私たち一人ひとりの言葉や行動の積み重ねによって育まれていきます。まずは身近な思い込みに気づくことから始めてみませんか。

ウィズじょうえつの活動紹介

(上越市男女共同参画推進センター)

講座の開催、市民団体やサポーターの連携、図書の貸出や情報提供、女性相談などの事業を行っています。



① センター講座

詳細は随時、
広報上越や市ホームページ
でお知らせします。



登録団体と協力して様々な講座を実施しています。

令和8年度の講座予定一覧

※R8.5時点の予定です。事前申し込みが必要です。

| | | | |
|-------------------|---|----------|--|
| 6/20(土) | 映画「五月の雨」上映会&トーク ～DV・親権を考える～ | 9/26(土) | 住みやすさ住みにくさを語り合う |
| 7/4(土) | 知っておきたい“お産”のこと ～女性の健康と権利が守られる出産とは | 10/30(金) | 地域セミナーin上越/女性活躍応援セミナー 気づきからはじまるジェンダー平等 ～まちが変わる、ひとが変わる(仮) |
| 7/14(火) | ワーク・ライフ・バランス推進セミナー Z世代に選ばれる職場づくり ～男性育休で企業が元気になるヒント～ | 11/7(土) | 女性のための60歳からの人生設計 ～私の人生の地図を描き直す～ |
| 7/16(木) ～20(月) | わたしたちのお産展(写真展) (19回のみ)ワークショップ「お産を語る会」同時開催 | 11/14(土) | 0歳からはじめるパパと赤ちゃんの コミュニケーション講座(仮) |
| 8/5(水) | 体験型! 包括的性教育講座 | 11/15(日) | 映画『バービー』上映会 ～わたしの幸せは、どんなカタチ?～ |

登録団体を募集しています!一緒に活動しませんか?

男女共同参画に関わる活動を行っている市民団体を「男女共同参画推進センター登録団体」として登録しています。

登録団体の活動は?

- ・センター講座の企画・運営
 - ・懇談会への参加や意見交換 など
- 詳細はこちら



② 男女共同参画出前講座

町内会や市民団体等が主催する
勉強会などに講師を派遣

地域の男女共同参画やハラスメント防止、デートDV防止など、さまざまなテーマをご用意しています。お気軽にご相談ください。

詳細はこちら



対象 性別にかかわらず、誰もが尊重される地域や職場を目指す
事業所や学校、町内会、市民団体など
(参加予定者10人以上)

内容 男女共同参画に関するテーマ
(プログラムから選択)

〈講師の謝金・交通費は市負担〉



③ 市民意識調査

令和8年秋実施予定の
無作為抽出調査

男女共同参画に関する意識を把握するための調査を行います。男女共同参画基本計画の策定などに活用します。



調査の実施
(アンケート)



結果の分析
(現状の把握)



計画や事業
への反映

調査票が届いた際は、ご協力をお願いいたします。

④ ウィズじょうえつの図書コーナー



1人5冊2週間まで無料貸出できます!
(氏名・ご住所がわかるものが必要です)

男女共同参画に関する入門書から専門書、マンガまで多数そろえています。お気軽にお立ち寄りください。

詳細・所蔵一覧は
こちら



わたしはわたし。あなたじゃない。
10代の心を守る境界線「バウンダリー」の引き方
著: 鴻巣 麻里香 出版社: リトルモア



友だちや家族、SNS、人との距離感に悩むあなたへ。さまざまなエピソードを通して、自分と相手の間に引く境界線「バウンダリー」をヒントに、心を守る知識や対処法を紹介する本です。

本当にやる!できる!必ずやる!
アイスランドの「女性の休日」

作: リンダ・オウラヴスドットゥル
訳: 朱位昌併 出版社: ゆぎ書房



女性たちが職場と家事を放棄した! その日に参加した母親が、娘にユモアを交えて語る絵本です。

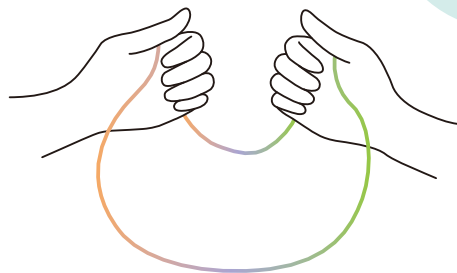
職場で使える!ジェンダー・ハラスメント対策ブック

著: 小林敦子 出版社: 現代書館



「お茶くみは女性がするもの?」
何気ない思い込みから起こるジェンダー・ハラスメントを、職場の具体例をもとに学べる実用的な一冊です。

その「境界線」、大切にできていますか？



人には、「されてもいいこと」と「されたら嫌なこと」があります。
その間にある見えない境界線を「バウンダリー」といいます。

バウンダリー（境界線）は人によって違います



恋人でも「NO」はある

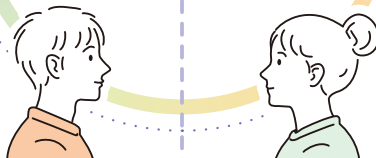


手をつなぎたくない日もある



断れない空気があることもある

沈黙は「YES」ではない



ここから先は、相手の気持ちを確認

その時の気持ちは変わることがある



冗談でも嫌な言葉がある



SNS やオンラインでも境界線はある



相手の同意のない性的な行為は**性暴力**です。

年齢や性別、関係性に関わらず、様々な場面で起こりうるものです。

もっと知りたい方は



(男女共同参画局)

性暴力を、なくそう。

「これって性暴力？」
「どうしたらいい？」
動画やマンガ、相談先などを紹介しています。

ひとりで悩まないでください

上越市
女性相談のご案内
(無料)

女性相談員がDV(配偶者や交際相手からの暴力)問題をはじめ、家庭や職場、人間関係などの悩みに関する相談をお受けします。秘密は固く守ります。男性や匿名の相談もお受けします。



◆相談場所：ウィズじょうえつ（上越市男女共同参画推進センター）上越市土橋2554番地 上越市市民プラザ2階

◆開設日時：月曜日～土曜日／午前9時～午後5時（火曜日は電話相談のみ午後7時まで延長）

※日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）、市民プラザ休館日（第3水曜日、この日が祝日の場合はその翌日）はお休みです。

※公の施設での出張相談も行っています。相談希望日の3日前までにご予約ください。



■専用ダイヤル：025-527-3614

■E-mail(問い合わせ)：w-soudan@city.joetsu.lg.jp

その他の
相談窓口

DV相談+

☎0120-279-889(24時間)

チャット相談(12時～22時)▶



性暴力被害者支援センターにいがた
(トキほっとライン)

☎#8891または025-281-1020

緊急時は警察へ!

☎110番

お問い合わせや
ご意見はこちらまで

ウィズじょうえつ
(上越市男女共同参画推進センター)

〒943-0821 上越市土橋2554番地 上越市市民プラザ2階
TEL 025-527-3624 FAX 025-522-8240
E-mail : d-sankaku@city.joetsu.lg.jp

